

あいちオレンジタウン構想

～認知症に理解の深いまちづくりの実現をめざして～

平成 29 年 9 月



オレンジタウン構想推進
プロジェクトチーム

あいちオレンジタウン構想の推進に向けて

急速な高齢化の進行に伴い、今後、認知症高齢者の大幅な増加が見込まれており、認知症対策は喫緊の課題となっています。

認知症の人ができるだけ住み慣れた地域で暮らし続けることは、国際的な基本的理念であり、国が定める「認知症施策推進総合戦略」（新オレンジプラン）のめざすべき社会の姿となっています。この理念を実現するためには、私たちひとりひとりが、認知症への理解を深め、つながり、支え合う「認知症に理解の深いまちづくり」を進めていくことが必要です。



そこで、認知症に関係する保健・医療・福祉の専門機関が集積している「あいち健康の森」とその周辺地域が一体となって、「認知症に理解の深いまちづくり」のモデルとなる先進的な取組を始めることとし、本県、地元の大府市、東浦町、健康の森内の専門施設、関係団体、学識者、国の関係機関を構成員とする「オレンジタウン構想推進プロジェクトチーム」により取組内容を協議し、この構想を策定いたしました。

この構想では、「地域で暮らし、学び、働く人々が、「認知症に理解の深いまちづくり」に「じぶんごと」として取り組む社会の実現」を基本理念とし、いわゆる団塊の世代の人々が後期高齢者となる平成 37（2025）年を見据え、地域づくりと研究開発の両面から、取組を推進していくこととしております。また、この取組を、早期に全県へ波及することにより、認知症対策の加速化をめざします。

愛知県がコーディネーターとなり、全力で取組を進めてまいりますので、県民の皆様をはじめ、この取組の推進に関わる全ての方々が、この構想の趣旨を御理解いただき、スローガンである「認知症じぶんごと ONE アクション」のとおり、新しい取組へのはじめの一歩を踏み出していただきますよう、心よりお願い申し上げます。

平成 29 年 9 月

愛知県知事
大村秀章

目次

第1章	構想策定の基本的な考え方.....	1
1	構想策定の趣旨.....	1
2	構想の位置づけ.....	4
3	対象地域.....	4
4	対象期間.....	5
第2章	認知症をとりまく社会情勢の現状と展望.....	6
1	高齢化の進行.....	6
2	認知症対策の国際的潮流.....	11
第3章	認知症対策の現状と課題.....	13
1	行政の取組.....	13
2	あいち健康の森内の専門機関の取組.....	24
3	課題の整理.....	29
第4章	愛知らしさ発揮の視点.....	31
第5章	基本理念.....	32
第6章	取組内容.....	33
1	基本的な考え方.....	33
2	アクションプラン.....	33
3	中長期的な取組.....	51
4	将来像.....	52
第7章	構想の推進体制.....	53
用語解説	54
資料	61
1	オレンジタウン構想推進プロジェクトチーム開催要領.....	61
2	審議経過.....	66